

情報公開用文書

西暦 2026 年 02 月 17 日作成 第 1 版

実施内容	吃逆に対するクロナゼパム療法
対象患者	他の方法にて制御困難な吃逆を有するがん患者
実施期間	承認後～永続的に使用
概要	【目的・意義】 日本では吃逆（しゃっくり）の治療薬として、「クロルプロマジン」および「柿のへた」などが、保険適応となっていますが、医学的根拠は乏しく、両薬剤を使ってもコントロールが困難な場合があります。 一方、クロナゼパムはてんかん発作の抑制などを目的に使用される薬剤ですが、横隔膜のけいれんを抑制する効果があるため、吃逆にも有効な場合があります。 当院では、従来の薬剤を使用しても症状が緩和されない場合や、クロルプロマジンで起こり得る過鎮静などの副作用のリスクが高いと考えられる、吃逆で苦しむ患者さんに対して、担当医が必要と判断した場合に限り、保険適応外の薬剤のクロナゼパムを使用します。 【予想される不利益と対策】 クロナゼパムの副作用で比較的多く認められるのは、傾眠、めまい、喘鳴、幻覚などですが、重篤な症状を呈することは稀です。これらの副作用に十分注意しながら使用し、副作用が生じた際には投与を中止し、症状に応じて治療を行います。
当院の未承認新規医薬品等を評価する委員会において承認を受けた上記の治療について、対象者となられる方から同意をいただくことにかえて、病院ホームページにて情報を公開することにより実施しております。 本件について同意できない場合、この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。 なお、同意できないと連絡をいただいた場合においても、添付文書の定める範囲内での使用では安全に医療を提供できないと担当医が判断したとき、再度ご説明させていただくことがあります。	
問合せ先および適応外使用を拒否する場合の連絡先：〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007 番地 静岡県立静岡がんセンター RMQC 室（医療の質・安全管理室） 電話番号：055－989-5222（代表） または、担当医に直接お申し出ください。	